

初めての企画「楽レク大会」

札幌報恩学園
副園長 竹村 義文



毎年の恒例行事だった6月の運動会が、今年度より「楽レク大会」へと変わりました。6月15日（土）初夏の日差しを感じながら、第1回の開催を楽しく終えることが出来ました。

第1回であり初めての企画ということで、どこで何をするか、どういう形がいいのか、参加するみんなが楽しめる企画は何か、など企画委員が頭を悩ませるのではと心配でした。しかし、私の予想は外れ4月の企画会議の段階から盛りだくさんのアイデアが出され、企画する側の職員も楽しそうに意見する場面が印象的でした。若い職員たちのパワーを感じました。これが一緒にみんなで楽しむ楽レク大会の第1歩目、舞台裏です。

当日参加された利用者様、そのご家族の皆さんお楽しみいただけただけでしょうか。来年に向けて更に楽しい楽レク大会になるよう今年の取り組みをいかして行ければと思います。最後になりましたがお間違いの方にご連絡です。「たのレク」ではなく「らくレク」です。笑

札幌報恩学園の
続きです

今年も早半年が過ぎてしまいました。らいらくは男性の利用者様23名が過ごしています。昨年までとは違い外出に制限がなくなりましたので、皆さんにどこに行きたいかを聞きながら予定を立てています。当日まで何度も確認しながら楽しみに待っていて、出掛ける時には一目散に玄関を出て行く様子が見られます。皆さんが健康で過ごして頂けるように配慮し、外出等を通して楽しみを感じて過ごして頂けるような一年にしたいと思います。

らいらく 支援係長 大久保



ぽぶらでは20代から60代までの幅広い年齢の利用者様が過ごされています。その為、活動においても時間を掛け一つの事に取り組む方や、複数の事を短時間で取り組む方など様々です。食事の形態や生活リズムも様々なため、行事でも個々に合わせた内容が求められています。全ての利用者様が、安心して楽しく生活できるよう、職員間で意見交換を行い、活動や行事を提供して行けたらと考えております。

ぽぶら 支援係長 岸田



あかしあの係長になり2年が過ぎました。ありきたりな言葉ですが、あっという間ですね。札幌報恩学園の勤務自体が初めてだった事もあり、見様見真似の毎日でしたが、利用者様と同僚に支えられてここまで来る事が出来ました。

さて、今年のあかしあですがコロナも落ち着きを見せているので、お店での飲食を再開しました。ラーメンやカレーを食べに行き、自分でマクドナルドを選んだり。こんな当たり前の事が約2年も出来なかったとは、本当に利用者様は頑張ってくれました。年度当初、あかしあの職員からも「早く色々なところに連れて行きたい。」と頼もしい言葉が出ていました。息抜き出来る時間を徐々に増やしていけたらと思います。

あかしあ 支援係長 森